

第7回ごみ処理恵庭モデル検討会振り返り

資料1

日時→令和4年9月15日(月)16:30~18:30

場所→恵庭市民会館2階 視聴覚室

出席7名 欠席3名

1. ごみ処理恵庭モデル確立に向けた提言(骨子案)について

提言の骨子案として、『構成』『基本的な考え方』『恵庭の特徴』『恵庭市ごみ処理システムの特徴と課題』『概要(項目)』について事務局より説明。

議論まとめ

- ▶『ゼロカーボン』についてはごみ処理恵庭モデルを確立した先にあるものとして、提言書の基本的な考え方とするのはどうか。
- ▶高齢化に伴う排出困難者の増加、障がい者や外国人などの**排出困難者に対する支援**について盛り込むこと。
- ▶**焼却施設**についてはあまり議論がされていないのでは？
- ▶**資源物(びん・缶・ペットボトル)の分別収集**について、現段階で結論が出ていないので、リサイクルパーク設置協議会で議論を深めること。方法について**収集業者へのヒアリング**も行っては？
- ▶視覚的にわかりやすいよう項目を分けているが、実際には**それぞれの項目は密接に関わっている**ということも伝えていく。

2. ごみ処理手数料について

『手数料有料化(H22)の目的・背景・内容・効果』『R2手数料改定の内容・効果』『コストの考え方・ごみ量の現況』『環境省 有料化の手引きの考え方』『R7手数料改定の目的』『第8回モデル検討会の内容(予定)』について事務局より説明。

議論まとめ

- ▶資料1p44『資源回収量の増加』の表現を『**資源回収率の向上**』に修正。
- ▶手数料改定の目的や何を基にして、その先に何があるのか、市民に対しての**もう一步のPR**が不足しているのでは？
- ▶p47~50目的の、『**その他**』の部分が**実は非常に大切**なところでは？『その他』とはせず、一つひとつ項目立てし、しっかりと市民へ啓発すること。『**自分事**』として捉えてもらいやすいように。
- ▶p46『意識改革』について、既に有料化を実施している中で、**手数料の設定根拠や用途をしっかりと説明**するとともに、手数料の充当先による市民のメリットも伝えていくこと。SNS等の活用によって子どもたちへの啓発→**大人の変化に繋がるような取り組み**も検討していく。
- ▶第8回モデル検討会で、現在直接的経費(p20)のみ経費算入している手数料を、**間接的経費を含めた『フルコスト』での処理原価**を提示し、そのうえでR7年度からの手数料について議論を行っていく。